

経営比較分析表（令和5年度決算）

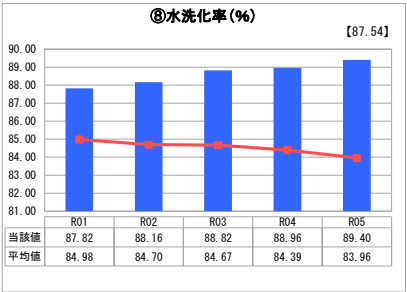
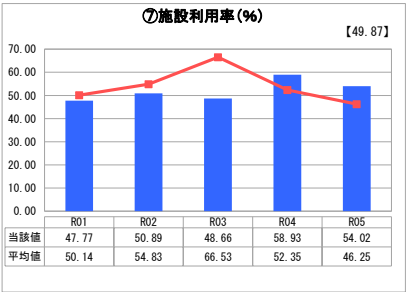
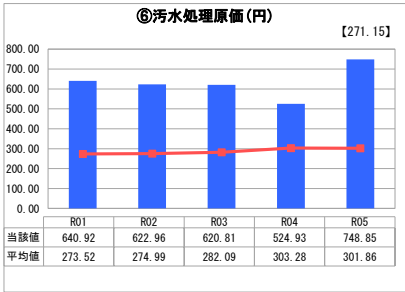
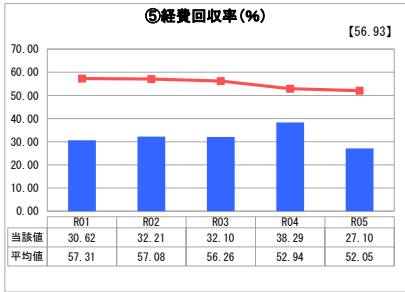
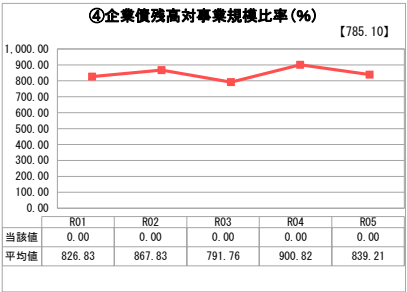
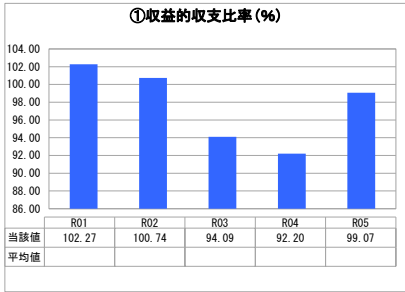
山形県 大江町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	6.29	81.53	3,685

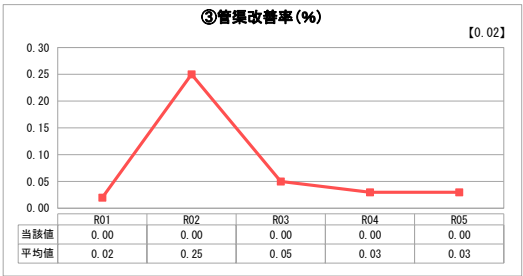
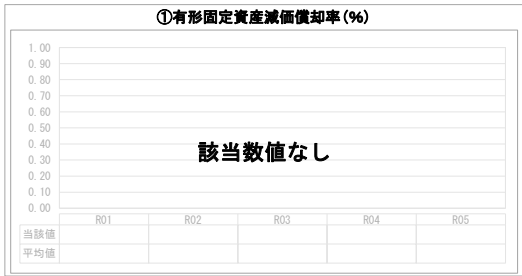
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,284	154.08	47.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
453	0.54	838.89

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、人口減少等による料金収入の減少と維持管理経費等の増加により、低下傾向にある。R5年度についてはR6年度からの企業会計移行に伴い一般会計からの繰入金が増加したため上昇した。

費用については、料金収入及び一般会計繰入金で賄えているものの、処理施設に対する人口割合が少なく、今後も人口増加による新たな接続者が見込める地区ではないため、料金収入を増加させることは難しい状況ではあるが、未納対策の強化等により料金収入の確保に努め、一般会計への依存度を低減させる必要があると考えている。

なお、R4年度に実施した施設維持管理費が例年に比べ少なかったことにより、R4年度の経費回収率が増加し、また汚水処理原価が減少した。対してR5年度には施設維持管理費が増加したため、経費回収率が減少し、また汚水処理原価が増加した。

また、経営の健全性・効率化のため、維持管理経費の見直しを継続して行い、原価水準の低下につなげられるよう努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

当町は、農業集落排水処理施設二箇所（楢山・三郷）を有しているが、供用開始後最長29年であり、管渠の更新時期にはまだ達していない。

しかしながら、今後確実に進行する老朽化対策として、処理施設に係る長寿命化計画を活用し長期的な施設・設備の適正な維持管理を行っていくこととしたい。

全体総括

農業集落排水処理施設への接続率は高いものの、一施設に対する人口は少なく、料金収入だけで経費を賄える状況ではない。

現状として、一般会計からの繰入金で収支を賄っているが、長期的な視点での施設の維持管理計画を策定していただくことで、維持管理費用の削減に努めたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。